

令和7年度(2025年度)

小学校生活科

単元名	春だ 今日から 2年生			教科書のページ	下 p.1～7
配当時数	6 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容	(3) (5)

単元の目標	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、予想したり比べたりしながら身近な自然の特徴を捉え、自然の様子や四季の変化、季節に合わせて自分たちの生活が変わることに気付くとともに、地域の場所や人々に関心を持ち、安全に気を付けて生活しようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、安全に気を付けて行動し、自然の様子や四季の変化、季節によって自分たちの生活が変わることに気付いている。	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、季節による変化を予想したり、他の季節と比べたりしながら、春の自然の特徴を捉えている。	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然のよさを取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価基準
校でいて 春を さがそう			
春の自然を観察する中で、予想したり比べたりしながら自然の特徴を捉え、春の自然の様子や季節の移り変わりに気付くとともに、それらを取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。 p.2～3	3	①～②これまでの経験を基に季節の変化を予想しながら、校庭で春の動植物を観察したり、春を感じられるものを探したりする。 ③気付いたことや感じたことを友達と伝え合ったり、記録カードにかいたりする。	[知技] 春の自然の様子や季節の移り変わりに気付いている。 [思判表] 季節による変化を予想したり、他の季節と比べたりしながら、春の自然の特徴を捉えている。 [態度] 季節ごとの自然のよさを実感し、それらを取り入れ、自分の生活を楽しくしようとしている。
まちで 春を さがそう			
安全に気を付けながら学校周辺の地域を歩く中で、季節の変化に合わせて地域の人々の生活が変わることに気付くとともに、地域の場所や人々に関心をもって、春のまちを歩こうとするができるようにする。 p.4～5	3	①学校周辺の地域を歩いて春を探す計画を立てる。 ②学校周辺の地域に出かけ、安全に気を付けて歩いたり地域の人と適切に関わったりしながら、春を探す。 ③教室に戻り、まちの絵地図を見ながら、気付いたことや感じたことを伝え合い、記録カードにかく。	[知技] 季節の変化に合わせて、自分たちの生活が変わることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 学校周辺の地域を歩く際、安全に気を付けて行動している。 [態度] 地域の場所や人々に関心を持ち、安全に気を付けながら春のまちを歩こうとしている。

単元名	ぐんぐん そだてわたしの 野さい			教科書のページ	下 p.8～19
配当時数	10 時間	活動時期	4～7 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち大切にしようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
そだてる 野さいを きめよう			
・ 野菜を育てたいという思いをもち、栽培する時期や場所などの条件を意識しながら自分が育てたい野菜を決め、野菜の成長への期待を話すなどしながら、たねまきや苗植えをしようとするができるようにする。 p.10～11	3	①～② 1年生での経験を想起したり教科書や図鑑、インターネット等を使って調べたりしながら、自分で栽培する野菜を決める。 ③ たねをまいたり苗を植えたりしながら、気付いたことを友達や先生と話す。	[思判表] 栽培する時期や場所などの条件を意識しながら、自分の育てたい野菜を決めている。 [態度] 野菜を育てたいという思いをもち、野菜の成長への期待を話すなどしながら、たねまきや苗植えをしている。
野さいの せわを しよう			
・ 1年生での経験を基に友達の野菜と比べたり、調べたことを実際に確かめたりしながら世話の仕方を決める中で、自分が育てている野菜の変化や成長に気付くとともに、野菜の状況に応じて、あきらめずに世話を続けることができるようにする。 p.12～13	2	① 野菜の様子を紹介し合い、必要な世話について話し合ったり本で調べたりする。 常時活動 野菜の様子を観察し、必要に応じた世話をする(草取りや施肥、支柱立て、芽かき、網かけなど)。 ② 野菜の様子を紹介し合ったり、必要な世話について話し合ったりし、野菜の成長の様子や世話の様子などを記録カードにかく。	[知技] 自分が育てている野菜の変化や成長に気付いている。 [思判表] 1年生での経験を基に友達の野菜と比べたり、調べたことを実際に確かめたりしながら、世話の仕方を決めている。 [態度] 育てている野菜の状況に応じて、友達に相談したり本で調べたりしながら、あきらめずに世話を続けている。
野さいの ようすをつたえ合おう			
・ 友達の世話の仕方と、自分が育てている野菜の特徴、変化や成長の様子を関連付けながら、世話の仕方を見直す中で、異なる植物にも、同じような特徴や性質があることに気付くことができるようにする。	2	①～② 野菜の成長を報告する会を開き、育てている野菜の成長の様子や世話の仕方を紹介し合い、気付いたことを記録カードにかく。 常時活動 話し合ったことを生かし、朝の時間や休み時間などを使って植物の世話を続ける。	[知技] 異なる植物にも、同じような特徴や性質があることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 適切な方法で、植物の世話をしている。 [思判表] 友達の世話の仕方と、自分が育てている野菜の特徴、変化や成長の様子を関連付け

p.14~15			ながら、世話の仕方を見直している。
野さいをしゅうかくしよう			
・自分が世話を工夫したことで植物が大きく成長したことや上手に世話をすることができるようになったことに気付くとともに、植物を育てることのよさを実感し、植物に親しみをもって、これからも植物と関わろうとすることができるようにする。 p.16~17	3	常時活動 朝の時間や休み時間などを使い野菜の様子を観察し、熟した野菜を収穫する。 ①収穫したときのことを振り返り、気付いたことを紹介し合う。 ②～③かきためてきた記録カードをまとめて友達と紹介し合ったり、植物を育てる中でお世話になった方に感謝の気持ちを伝えたりする。	[知技] 自分が世話を工夫したことで植物が大きく成長したことや上手に世話をすることができるようになったことに気付いている。 [態度] 植物を育てることのよさを実感し、植物に親しみをもって、これからも植物と関わろうとしている。

単元名	どきどき わくわく まちたんけん			教科書のページ	下 p.20～29
配当時数	10 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要領の内容	(3)

単元の目標	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分との関わりを見付け、地域にはさまざまな場所があり人がいることや地域の場所が自分の生活と関わっていることに気付くとともに、地域の場所や人々に親しみをもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり人がいることや、地域の場所が自分の生活と関わっていることに気付いている。	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けている。	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人々に親しみをもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
まちの ことを 話そう			
・ 友達と身近な地域のことを話す中で、自分の知っている場所のほかに、まだ知らないさまざまな場所があることに気が付き、地域に探検に行きたいという思いを高めることができるようにする。 p.22～23	1	① 地域で、自分のお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などについて話し合う。	[知技] 地域には、自分の知っている場所のほかに、まださまざまな場所があることに気付いている。
たんけんの 計画を 立てよう			
・ 行ってみたい場所や見てみたい物を思い描きながら、友達や自分の行きたい場所や時間に応じて、探検する場所を変えたり、順番を調整したりして、探検の計画を立てようとするができるようにする。 p.24～25	3	① 探検に行きたい場所について話し合い、探検先ごとのグループをつくる。 ② グループごとに探検の計画を立て、計画表に記入する（探検する順番や通る道、役割、持ち物、探検のルールやマナーなど）。 ③ 探検の計画や、探検のルール・マナーを確認し、探検に出かける準備をする。	[思判表] 行ってみたい場所や見てみたい物を思い描きながら、探検の計画を立てている。 [態度] 友達や自分の行きたい場所や定められた時刻に応じて、探検する場所を変えたり、順番を調整したりしようとしている。
まちを たんけんしよう			
・ 自分の生活とのつながりを意識しながらまちを探検する中で、身近な地域の場所や物が自分の生活と関わっていることに気付くことができるようにする。 p.26～27	3	①～③グループごとに探検に行く。	[知技] 身近な地域の場所や物が、自分の生活と関わっていることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 地域を探検する際、定められた時刻を守っている。 [思判表] 自分の生活とのつながりを意識しながら、まちを探検している。

見つけた ことをつたえよう			
・探検したことを思い起こしながら、いちばん伝えたいことを選び、伝える中で、地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあることや、それらの場所が自分たちの生活を楽しくしていることに気づき、それらを自分たちの生活に生かそうとすることができるようになる。 p.28～29	3	①探検で見付けたことをグループごとに振り返り、気付いたことを記録カードにかく。 ②見付けたことの中で、いちばん伝えたいことを付箋にかき、絵地図に貼る。 ③絵地図を見ながら、自分たちが見付けたことや分かったことなどを発表する。	[知技] 身近な地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあり、それらが自分たちの生活を楽しくしていることに気付いている。 [思判表] 探検したことを思い起こしながら、いちばん伝えたいことを選び、友達に伝えている。 [態度] 身近な地域には自分の生活を楽しくしてくれる場所があることを実感し、自分の生活に生かそうとしている。

単元名	生きもの なかよし 大作せん			教科書のページ	下 p.30～43
配当時数	10 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもって、大切にしようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物が生命をもっていることや、変化し成長していることに気付いている。	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
学校の近くの生きもののことを話そう			
・生き物を飼ってみたいという思いをもち、1年生での経験などを基に、生き物のいる場所を予想しながら生き物を探す計画を立てる中で、生き物を飼うために必要なことについて調べようとするができるようにする。 p.32～33	2	① 1年生での経験や、まち探検での学びを基に、身近にいる生き物の様子を伝え合う。 ② 話し合ったことを基に、探しに行く場所を決め、生き物を探す計画を立てる。また、教科書や図鑑、PC等を使い、生き物のことを調べたり考えたりする。	[思判表] 1年生での経験などを基に、生き物のいる場所を予想しながら、生き物を探す計画を立てている。 [態度] 生き物を飼ってみたいという思いをもち、生き物を飼うために必要なことについて調べようとしている。
生きものをさがそう			
・前時に立てた計画を基に、生き物のいる場所を実際に確かめながら生き物を探す中で、生き物のいる場所と生育環境との関係性に気付くことができるようにする。 p.34～35	2	①～② 学校や地域の公園などで生き物を探し、教室に戻った後、気付いたことを記録カードにかく。	[知技] 生き物のいる場所と生育環境との関係性に気付いている。 [思判表] 前時に立てた計画を基に、生き物のいる場所を実際に確かめながら、生き物を探している。
生きものをそだてよう			
・生き物が育つ場所の特徴を意識しながら、生き物の立場に立って世話を続ける中で、生き物が生命をもっていることや、変化し成長していることに気付くことができるようにする。 p.36～37	3	① 第1次で調べたことを基に、生き物がどのような環境で育ち、何を食べるのか再確認し、飼育環境を整える。 ②～③ 調べたり聞いたりしたことなどを基に、それぞれの生き物に応じた世話をする。 常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、継続的に世話や観察をする。活動後に気付いたことを記録カードにかく。	[知技] 生き物が生命をもっていることや、変化し成長していることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 適切な方法で生き物の世話をしている。 [思判表] 生き物が育つ場所の特徴を意識しながら、生き物の立場に立って世話を続けている。

生きもののことをふりかえろう			
・これまでの世話を思い起こしながら、自分がまとめたい内容にふさわしい方法を選び、表現する活動を通して、自分が大切に世話を続けてきたことで、生き物が成長したことに気付くとともに、生き物に親しみを持ち、これからも大切にしようとするができるようになる。 p.38～39	3	①～②これまでの活動や、カード等の記録を基に、生き物のためにがんばったことや自分たちができるようになったことを友達と伝え合い、作品にまとめる。 ③つくった作品を紹介し合った後、飼育してきた生き物をどうするかについて話し合う。	[知技] 生き物の立場に立って自分が大切に世話を続けてきたことで、生き物が成長したことに気付いている。 [思判表] これまでの世話を思い起こしながら、自分がまとめたい生き物の特徴や成長について、ふさわしい方法を選び、表現している。 [態度] 継続的に世話をしてきた生き物に親しみを持ち、これからも生き物を大切にしようとしている。

単元名	うごく うごく わたしの おもちゃ			教科書のページ	下 p.44～57
配当時数	12 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	(6)

単元の目標	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを工夫したりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付いている。	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりするなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
いろいろなおもちゃで あそんで みよう			
・ おもちゃの動く仕組みに着目しながら見本のおもちゃで遊ぶ中で、身近にある物を使ったおもちゃの動きの面白さやその特徴に気付くことができるようにする。 p.46～47	1	①見本のおもちゃで遊び、自分のつくりたいおもちゃを決める。	[知技] 身近にある物を使ったおもちゃの動きの面白さやその特徴に気付いている。 [思判表] おもちゃの動く仕組みに着目しながら、見本のおもちゃで遊んでいる。
うごく おもちゃをつくろう			
・ つくりたいおもちゃを思い描きながら使う材料を選びつくる中で、材料やつくり方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付くことができるようにする。 p.48～49	3	①～③見本のおもちゃや教科書、図鑑などを参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を選んだり、材料を組み合わせたりして自分のおもちゃをつくる。	[知技] 材料やつくり方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] おもちゃをつくったり遊んだりする際、安全に配慮しながら必要な道具を適切に使っている。 [思判表] つくりたいおもちゃを思い描きながら、使う材料を選んでいる。
もっとよく うごく おもちゃにしよう			
・ おもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち、実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながらおもちゃをつくる中で、自分が加えた工夫とおもちゃの動きとの間に一定の関係性があることに気付き、繰り返し改良しようとするができるようにする。 p.50～51	3	①自分がつくったおもちゃで友達と遊んだり競争したりするなどして、気付いたことを話し合う。 ②～③おもちゃを工夫して改良しながら遊び、よりよく動くように、グループで話し合ったり試して遊んだりする。	[知技] 自分がおもちゃに加えた工夫と、おもちゃの動きとの間には、一定の関係性があることに気付いている。 [思判表] 実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら、おもちゃを改良している。 [態度] 自分のおもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち、繰り返しおもちゃを改良しようとしている。

みんなとあそぼう			
・ みんなと楽しく遊んでいる様子を思い描きながら、遊び方やルールを決めて遊ぶ活動を通して、自分が工夫したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付くとともに、これからも友達と一緒に遊びを創り出そうとすることができるようになる。 p.52～53	5	① みんなで楽しく遊ぶ活動について話し合う。 ② みんなで遊ぶ活動に向けて準備をする。 ③～④ みんなで楽しく遊びながら、ルールや遊び方を工夫したりおもちゃを改良したりする。 ⑤ これまでの学習活動を振り返り、記録カードにかく。	[知技] 自分がルールや遊び方を工夫したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。 [思判表] みんなと楽しく遊んでいる様子を思い描きながら、遊び方やルールを決めている。 [態度] みんなと遊びを創り出すことの面白さを実感し、これからも友達と一緒に遊びを創り出そうとしている。

単元名	みんなでつかうまちのしせつ			教科書のページ	下 p.58～67
配当時数	6 時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(4)

単元の目標	公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使う物があることや、それらを支えている人々がいることに気付いている。	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切に、正しく安全に利用しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
図書かんをつかおう			
公共施設への関心や期待をもちながら図書館を利用する中で、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する施設であることに気付くとともに、それらを正しく利用しようとするができるようにする。 p.60～61	3	① 図書館を利用することについて話し合い、出かけるための準備をする。 ②～③ 地域の図書館に出かけ、本を読んだり借りたりするなどして図書館を利用する。	[知技] 図書館は、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する施設であることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 図書館を利用する際、公共の場所でのルールやマナーを守っている。 [態度] 図書館などの公共施設への関心や期待をもちながら、それらを正しく利用しようとしている。
図書かんのことを聞いてみよう			
図書館の機能やそこで働く人の役割を予想しながら図書館にいる人と関わる中で、図書館には多様な人々が利用しやすいような工夫があることやそれを支えている人の存在に気付くとともに、それらがまちの人たちの暮らしを豊かにしていることを実感し、これからも大切に利用しようとするができるようにする。 p.62～63	2	① 地域の図書館に出かけ、図書館のことを調べたり、図書館司書の人やボランティアの人、利用者などにインタビューしたりする。 ② 学校に戻り、図書館での学習活動を振り返り、記録カードにかく。	[知技] 図書館には、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用しやすいような工夫があることや、それを支えている人の存在に気付いている。 [思判表] 図書館の機能やそこで働く人の役割を予想しながら、図書館で働く人と話したり質問したりしている。 [態度] 図書館は多様な人々の暮らしを豊かにしていることを実感し、これからも大切に利用しようとしている。
みんなでつかうしせつのことを話し合おう			
身の回りにある公共施設について友達と話し、自分たちの地域にはみんなで使うためのさまざまな施設があり、それらを支えている人々がいることに気	1	① 地域の公共施設について話し合う。	[知技] 自分たちの暮らす地域には、みんなで使うためのさまざまな施設があることや、それらを支えている人々がいることに気付いている。

付くことができるようにする。 p.64～65			
--------------------------------------	--	--	--

単元名	もっと なかよし まちたんけん			教科書のページ	下 p.68～79
配当時数	12 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容	(3)

単元の目標	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分たちの生活との関わりを見付けている。	地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
たんけんの 計画を 立てよう			
・ 地域の場所や人について、もっと知りたいという思いをもち、春のまち探検のことを思い起こしながら、行き先や調べたいことを決めるなど、探検の計画を立てようとするができるようにする。 p.70～71	2	①探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどについて話し合い、探検先ごとのグループをつくる。 ②グループごとに探検の計画を立てて計画表に記入する（探検場所、聞きたいこと、持ち物、探検のルールやマナーなど）。	【思判表】 春のまち探検のことを思い起こしながら、行き先や調べたいことを決めている。 【態度】 地域の場所や人について、もっと知りたいという思いをもち、探検の計画を立てようとしている。
もう いちど たんけん に 行こう			
・ 春のまち探検と比較しながら、地域の人に質問したり話したりする中で、地域には働く人や生活している人がいることに気付くことができるようにする。 p.72～73	3	①～②グループごとに探検に行く。 ③探検活動を振り返り、気付いたことや学んだことを記録カードにかく。	【知技】 地域には働く人や生活している人がいることに気付いている。 【知技（習慣や技能）】 地域の人と接する際、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いをしている。 【思判表】 春のまち探検と比較しながら、地域の人に質問したり話したりしている。
見つけた ことを 話し合おう			
・ 友達の見付けたことと自分の見付けたことを関連付けながら地域のことを話し合う中で、地域にはさまざまな工夫をしながら働いたり生活したりしている人がいることに気付くとともに、探検で分からなかったことを調べたいという思いをもち、もう一度探検	2	①探検で見付けたことを、グループごとに整理し、全体場で紹介し合う。 ②グループごとに、次の探検の計画を立てる。	【知技】 地域にはさまざまな工夫をしながら、働いたり生活したりしている人がいることに気付いている。 【思判表】 友達の見付けたことと自分の見付けたことを関連付けながら、地域のことを話し合っている。 【態度】 探検で分からなかったこ

に行こうとすることができるようにする。 p.74～75			とを調べたいという思いをもち、もう一度探検に行こうとしている。
まちの人に聞きに行こう			
・地域で働いたり生活したりしている人の思いを意識しながら、調べたいことについて質問する中で、探検で関わった地域の人や、地域に寄せる思いに気付くことができるようになる。 p.76～77	3	①各グループで前時の学習活動を踏まえて探検の内容を検討し、計画を見直して、探検の準備をする。 ②～③グループごとに探検に行く。	[知技] 探検で関わった地域の人や、地域に寄せる思いに気付いている。 [思判表] 地域で働いたり生活したりしている人の思いを意識しながら、調べたいことについて質問している。
分かったことをつたえ合おう			
・自分や友達が関わった人々の地域に寄せる思いを関連付けながら、地域の人々のよさについて話す中で、地域には自分たちの暮らしを支えたり、楽しくしたりしてくれている人々がたくさんいることに気付くとともに、地域の場所や人々のよさを実感し、それらに親しみや愛着をもって大切にしようとするができるようになる。 p.78～79	2	①探検で分かったことを、グループごとに整理してまとめ、ほかのグループの友達に紹介するための準備をする。 ②まち探検で分かったことを紹介合う。	[知技] 地域には自分たちの暮らしを支えたり、楽しくしたりしてくれている人々がたくさんいることに気付いている。 [思判表] 自分や友達が関わった人々の地域に寄せる思いを関連付けながら、地域の人々のよさについて伝え合っている。 [態度] 地域の場所や人々のよさを実感し、それらに親しみや愛着をもって大切にしようとしている。

単元名	つながる 広がる わたしの 生活			教科書のページ	下 p.80～91
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	(3) (4) (8)

単元の目標	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かったともに、進んで触れ合い交流しようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
まちのすてきを話し合おう			
・ 地域で関わった人のことや分かったことを伝えたいという思いをもち、伝える相手のことを想像しながら伝えたいことを選ぶ中で、詳しく調べたいことがあることに気づき、もっと調べようとするができるようにする。 p.82～83	3	①秋の探検で出会った人や見付けたことを振り返り、記録カードにかく。 ②出会った人や見付けたことなどの「まちのすてき」を友達と伝え合う。 ③「まちのすてき」を地域の人などに伝える計画について話し合う。	[思判表] 誰に伝えるかを思い描きながら、伝えたいことを選んでいる。 [態度] 地域で関わった人のことや分かったことを伝えたいという思いをもち、もっと詳しく調べようとしている。
もっとくわしくしらべよう			
・ 伝える相手のことを想像しながら、電話やビデオ通話等を適切に使って伝えたいことについて調べる中で、相手が伝えたいことが理解できるようになるなど、身近な人々と関わることのよさに気付くことができるようにする。 p.84～85	3	①伝えたいことや、そのためにもっと詳しく知りたいこと、調べる方法について話し合う。 ②～③話し合って決めた調べ方に沿って、さらに詳しく調べる。	[知技] 相手が伝えたいことが理解できるようになるなど、身近な人々と関わることのよさに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 地域の人に連絡をする際、電話やビデオ通話等を適切に使っている。 [思判表] 相手のことを想像しながら、伝えたいことを詳しく調べている。
つたえたいことをまとめよう			
・ 伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら伝え方を選ぶ中で、伝える相手に応じた伝え方があることに気付くとともに、適切な方法で表現しようとするができるようにする。 p.86～87	3	①詳しく調べたことを整理してまとめる。 ②～③調べてまとめたことについて、どうすれば相手に伝わるか話し合い、作品にまとめたり、伝える準備をしたりする。	[知技] 伝える相手に応じた伝え方があることに気付いている。 [思判表] 伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら、伝え方を選んでいる。 [態度] 伝える相手や内容に応じて、適切な方法で表現しようとしている。

まちの すてきを とどけよう			
・ 地域のよさを相手に伝えたり交流したりする活動を通して、互いの気持ちがつながる心地よさに気付くとともに、身近な人々と関わることのよさを実感し、これからも進んで関わろうとすることができるようにする。 p.88	3	①～②グループでまとめたことを、地域の人に伝える。 ③地域の人に伝えたり、感想や質問を受けたりしたときの様子を振り返る。	[知技] 交流することで、互いの気持ちがつながる心地よさに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 適切な方法で訪問や連絡、依頼を行っている。 [態度] 身近な人々と関わることのよさを実感し、これからも進んで身近な人々と関わろうとしている。
まちの 人を しょうたいしよう			
・ 伝える相手のことを思い描きながら、その人に合った方法で、地域のよさを伝える活動を通して、自分が伝えたことで地域の人々が喜んでくれたことを実感し、これからも地域の人々と交流しようとするができるようにする。 p.89	外	・ 保護者や地域の人など、身近な人々を学校に招待するための準備をする(手紙やポスターなど案内の作成、発表会の練習)。 ・ 招待した人々に、心に残った地域での出来事を伝えたり感想を聞いたりする。	[思判表] 伝えたい相手のことを思い描きながら、その人に合った方法で、伝えている。 [態度] 自分が伝えたことで地域の人々が喜んでくれたことを実感し、これからも地域の人々と交流しようとしている。

単元名	あしたへ ジャンプ			教科書のページ	下 p.92～102
配当時数	27 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要領の内容	(9)

単元の目標	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするができるようにする。
-------	---

単元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや自分が大きくなったこと、役割が増えたことに気付いている。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
せい長した 自分の ことを ふりかえろう			
・ これまでの表現作品などを手がかりに、入学した頃の自分と現在の自分を比較しながら、自分でできるようになったことや大きくなったこと、役割が増えたことなどについて話す中で、自分の成長に気付くことができるようにする。 p.94～95	3	①～② 写真や動画、記録カード、作品などを手がかりに、入学してから自分でできるようになったことを振り返る。 ③ 振り返る中で気付いた自分の成長を、グループや全体で紹介し合う。	[知技] 自分でできるようになったことや大きくなったこと、役割が増えたことなどに気付いている。 [思判表] 入学した頃の自分と現在の自分を比較しながら、自分でできるようになったことや大きくなったことなどについて話している。
せい長した 自分の ことを 見つめよう			
・ 自分のことをもっと知りたいという思いをもち、自分で振り返ったことと身近な人に聞いたことをつなぎ合わせながら自分の成長について話す中で、優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長に気付くことができるようにする。 p.96～97	6	①～② 友達との関わりを振り返り、互いのすてきなところを見付け、カードにかいて渡し合う。 ③～⑤ 家の人や成長を支えてくれた人などに、自分の成長についてインタビューする。 ⑥ 友達からもらったカードやインタビューなどを手がかりに、過去の自分と比較し、自分の成長について話したりカードにかいたりする。	[知技] 体の成長や役割が増えたことだけでなく、優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長に気付いている。 [思判表] 自分で振り返ったことと身近な人に聞いたことをつなぎ合わせながら、自分の成長について話している。 [態度] 自分のことをもっと知りたいという思いをもち、身近な人に聞いて調べようとしている。
自分の ことを まとめよう			
・ 自分の成長についてまとめたという思いをもち、いちばんかきたいことを選び出し、ふさわしい方法で表現する中で、自分自身のよさや可能性に気付くことができるようにする。	9	① 前時までに調べたことを基に、どんな出来事をどんな方法でまとめるのか決める。 ②～⑦ 資料や材料を集め、方法を工夫しながら、自分の成長をまとめる。 ⑧～⑨ つくった作品を友達と紹介し	[知技] 自分自身のよさや可能性に気付いている。 [思判表] 自分の成長について気付いたことの中から、いちばんかきたいことを選び出し、ふさわしい方法で表現している。 [態度] 自分の成長についてまと

p.98~99		合い、まとめたことを振り返る。	めたいという思いをもち、適切な方法で表そうとしている。
ありがとうの 気持ちを つたえよう			
・ 周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、周囲の人々に感謝の気持ちを伝える活動を通して、自分はたくさんの人に支えられて成長していることに気づき、3年生でも意欲的に生活しようとするができるようにする。 p.100~101	9	①～②招待したい人を決め、伝えたい内容を話し合い、発表会の計画を立てる。 ③～⑤発表の準備をする。 ⑥～⑧発表会を開く。 ⑨発表会を振り返り、話し合う。	[知技] 自分はたくさんの人に支えられて生活し成長していることについて、気付いている。 [思判表] 周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、感謝の気持ちを伝えている。 [態度] これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、3年生でも自分のよさや可能性を生かして意欲的に生活しようとしている。